平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 トレーディア株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9365　　URL
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 鈴木 安雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長　　(氏名) 山口 勝　　TEL 078-391-7170
四半期報告書提出予定日　　平成23年8月15日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,744	5.9	8	―	32	―	23	―
23年3月期第1四半期	3,534	24.1	△110	―	△59	―	△32	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△12百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△70百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.62	―
23年3月期第1四半期	△2.21	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,354	2,182	26.1
23年3月期	8,244	2,267	27.5

(参考) 自己資本　　24年3月期第1四半期　2,182百万円　　23年3月期　2,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	5.00	5.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		―	―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,670	3.1	38	―	50	11.5	25	△11.3	1.70
通期	15,640	3.7	230	228.3	250	75.9	130	77.4	8.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	14,700,000 株	23年3月期	14,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	37,803 株	23年3月期	37,803 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	14,662,197 株	23年3月期1Q	14,666,517 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表等 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が減少しておりましたが、サプライチェーンの復旧が進むにつれ生産活動が回復し、緩やかに持ち直しの動きとなりました。しかしながら、放射能漏洩問題による電力供給制限、個人消費の落ち込み、円高の進行などもあり、依然先行き不透明な状態が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、海外拠点の整備と拡充を行うとともに、積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期間比5.2％増加し、売上高は37億44百万円余(対前年同期間２億10百万円余増)となりました。損益面につきましては、外注費比率が微増となりましたが、営業総利益は前年同期間比74.8％増加し２億98百万円余(対前年同期間１億27百万円余増)となりました。営業利益は、８百万円余(前年同期間は営業損失１億10百万円余)、経常利益は32百万円余(前年同期間は経常損失59百万円余)、四半期純利益は23百万円余(前年同期間は四半期純損失32百万円余)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 輸出部門

輸出部門におきましては、金属製品が減少しましたが、機械機器製品が増加したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比5.0％増加し９億９百万円余、セグメント損失は12百万円余（前年同期間はセグメント損失25百万円余）の計上となりました。

② 輸入部門

輸入部門におきましては、繊維製品が減少しましたが、機械製品が増加したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比9.7％増加し14億59百万円余、セグメント利益は15百万円余（前年同期間はセグメント損失76百万円余）の計上となりました。

③ 国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は北米向けの建設機械及び部品の取扱いを伸ばし、インド向けも堅調に推移したことにより、国際輸出部門の売上高は前年同期間比26.0％増加し３億80百万円余の計上となりました。国際輸入は、家電、家具の取扱いで売上を伸ばしましたが、当社主力商品であります繊維製品、靴の取扱いが低調に推移したことにより、国際輸入部門の売上高は前年同期間比3.3％減少し９億54百万円余の計上となりました。その結果、国際部門の売上高は前年同期間比3.6％増加し13億34百万円余、セグメント利益は１百万円余（前年同期間はセグメント損失14百万円余）の計上となりました。

④ その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比18.0％減少し65百万円余となり、セグメント利益は前年同期間比35.8％減少し、４百万円余の計上となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ１億10百万円余増加し、83億54百万円余となりました。流動資産は１億38百万円余増の33億79百万円余、固定資産は28百万円余減の49億75百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金の増加等によるものであります。固定資産減少の主な要因は、時価評価差額による投資有価証券の減少等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ２億45百万円余増加し、43億４百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、49百万円余減少し18億67百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金及び賞与引当金の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、85百万円余減少し、21億82百万円余となりました。これは、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年５月13日公表の第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表等

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	588,637	749,779
受取手形及び売掛金	1,839,244	1,799,776
繰延税金資産	118,814	118,814
立替金	569,333	547,592
その他	126,510	165,099
貸倒引当金	△2,319	△2,000
流動資産合計	3,240,220	3,379,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,418,644	1,392,380
機械装置及び運搬具（純額）	22,850	30,526
工具、器具及び備品（純額）	10,146	9,458
土地	1,156,869	1,156,869
リース資産（純額）	87,751	84,989
有形固定資産合計	2,696,262	2,674,224
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	17,880	17,492
無形固定資産合計	52,440	52,052
投資その他の資産		
投資有価証券	983,632	934,424
差入保証金	815,338	812,692
繰延税金資産	－	18,802
その他	503,371	530,007
貸倒引当金	△47,066	△46,835
投資その他の資産合計	2,255,276	2,249,092
固定資産合計	5,003,979	4,975,369
資産合計	8,244,200	8,354,431

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,376,147	1,347,762
短期借入金	2,208,628	2,318,128
リース債務	31,262	32,147
未払法人税等	18,839	13,363
賞与引当金	193,550	294,750
その他	230,420	298,332
流動負債合計	4,058,848	4,304,483
固定負債		
長期借入金	1,470,287	1,478,283
リース債務	61,163	57,253
繰延税金負債	5,194	－
退職給付引当金	248,535	226,998
役員退職慰労引当金	132,406	105,135
固定負債合計	1,917,587	1,867,671
負債合計	5,976,435	6,172,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,331,466	1,281,974
自己株式	△8,542	△8,542
株主資本合計	2,228,352	2,178,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,412	3,416
その他の包括利益累計額合計	39,412	3,416
純資産合計	2,267,764	2,182,276
負債純資産合計	8,244,200	8,354,431

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業収入	3,534,575	3,744,747
営業費用	3,363,994	3,446,651
営業総利益	170,581	298,095
一般管理費	281,400	289,360
営業利益又は営業損失（△）	△110,818	8,735
営業外収益		
受取利息及び配当金	41,460	12,350
持分法による投資利益	11,527	13,581
その他	20,958	15,839
営業外収益合計	73,945	41,771
営業外費用		
支払利息	20,737	18,025
その他	1,802	190
営業外費用合計	22,540	18,216
経常利益又は経常損失（△）	△59,413	32,290
特別利益		
固定資産処分益	－	826
貸倒引当金戻入額	297	－
特別利益合計	297	826
特別損失		
固定資産除売却損	12	23
特別損失合計	12	23
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△59,128	33,093
法人税等	△26,699	9,222
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△32,429	23,870
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△32,429	23,870

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△32,429	23,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,482	△35,995
繰延ヘッジ損益	1,044	－
その他の包括利益合計	△38,437	△35,995
四半期包括利益	△70,866	△12,124
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,866	△12,124
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	輸出	輸入	国際				
営業収入							
外部顧客への売上高	856,493	1,327,379	1,288,872	61,830	3,534,575	―	3,534,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,217	2,632	―	18,152	30,002	△30,002	―
計	865,711	1,330,011	1,288,872	79,983	3,564,578	△30,002	3,534,575
セグメント利益又は損失(△)	△25,958	△76,981	△14,915	7,036	△110,818	―	△110,818

(注)１.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２.調整額△30,002千円は、セグメント間取引消去額であります。

３.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	輸出	輸入	国際				
営業収入							
外部顧客への売上高	906,394	1,458,562	1,334,909	44,880	3,744,747	―	3,744,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,855	729	―	20,718	24,304	△24,304	―
計	909,250	1,459,291	1,334,909	65,599	3,769,051	△24,304	3,744,747
セグメント利益又は損失(△)	△12,896	15,471	1,646	4,514	8,735	―	8,735

(注)１.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２.調整額△24,304千円は、セグメント間取引消去額であります。

３.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。